

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

# 彩の国ペタンク通信

第73号

編集 埼玉県ペタンク・ブール連盟  
企画・編集 広報部(森)  
連絡先 048-572-1885  
Mail: petamori1885@gmail.com



## 第32回彩の国オープンペタンク大会

第32回彩の国オープンペタンク大会(主催・県連盟、協力・川本ペタンククラブ)が令和2年10月25日、深谷市菅沼の川本おまつり広場で行われた。決勝戦では、KICKチームが11対8で新座こぶしチームを破り頂点に立った。



**優勝 KICK**  
加藤賢治 加藤英男 市川重夫

「話してくれた。惜しくも準優勝となった新座こぶしの斉藤好友さんは、「最初は予選の段階から考え決勝進出も難しいかなと思った。それでも、決勝戦まで進み、相手チームは練習仲間でも



**準優勝 新座こぶし**  
清水紀夫 清水千里 斉藤好友

「コロナ禍で開催された今年度初となり、今年度は、埼玉県エフジヨイマップに基づいた新型コロナウイルス感染症対策をし、32チームが参加して行われた。接戦の決勝戦を制して優勝したKICKの加藤英男さんは、みんながコロナに打ち勝つていきましょつ。」



**3位 A-K E美**  
泉恵美子 松井恵 中村敦子

3位のA-K E美の中村敦子さんは、「3位決定戦の対戦チームには予選リーグであたり、負けているのでリベンジする気持ちでのぞみました。結果、勝つことができてよかったです。」と話してくれた。



大会でのコロナ対策は次頁をご覧ください



▲サークルを使ってソーシャルディスタンス



▲体温測定員もフェイスマスク着用



▲整列して順番を待って体温測定



▲間隔を取っての開会式



▲AIを使った検温器も登場、性能は？



▲いつもなら対戦表が設置されているが、ブロック管理の為なし



▲1面を空けてのコートセッティング



▲受付スタッフも手袋を着用



▲手洗いの蛇口にも石鹸を設置して消毒



▲正しいマスクの着用

▲咳エチケット気をつけて！



▲トイレのある公民館入り口にも除菌対策

# 感染予防対策しました。

▼▼ こちらの写真は、ちょっと危ない事例です ▼▼



▲体温計測している後方に人だまりができています



▲敵味方がいっしょになっているよ！



▲ボールを拾い上げるのに密集しているね！

# 初心者講習

令和2年11月24日(火)鶴ヶ島市の若葉駅近くのワカバウオーク平面駐車場の向かいにある富士見南児童公園にて「パタノク同好会ふじみん」(会員14名 平均年齢7?歳)からの依頼により埼玉県連盟指導部による講習会に12名が参加し実施された。



▲奥がワカバウオークで手前が南児童公園

講習会のきっかけになったのは、彩の国パタノク通信72号を発行した際、県内各市町村宛てに「パタノク出張講習会承ります」のポスターを同封したところ、そのポスターを見たという、鶴ヶ島市の四条様から連絡をいただき、この講習会が実現した。

この講習会の目的は、市内の大会に参加し1日5試合のリーグ戦で3チーム参加しても、どのチームも1勝程度

度しかできず、上位に食い込み入賞できるようになりたいと代表者の四条さんは語っていた。

講習会が終了した後、参加者の方に聞いてみた。

●ボールの握り方なんて、教わったことがなく、良かったよ！

●最後のゲームで5点も取れたんだ！順番に投げていたけど、役目があるなんて知らなかつたね！

●来年4月の大会では3勝？できるかな！毎日でも投げてみたくなつたよ！

講習会の最後には、きれいな投球フォームになりましたね。

講習会の最後には、きれいな投球フォームになりましたね。



▲参加者の皆さんと記念撮影しました。



# 中級者講習

令和2年12月13日(日)深谷市上柴町のつばき公園(おねぎの里)パタノク大会の会場)で県連盟の指導部と審判部が合同で、深谷市パタノク連盟の皆さんへパタノク講習会が開催された。

落合会長に講習会を開催した理由を聞いてみた。



いがトラブルが起きやすい事象などを今泉日へ審判部会長が説明をし、県連盟柳沢審判部長は、実技メンバーの一員として違反の演技をしていた。



▲コートサイドに受講生がいて実技ルール講習

2部は指導部の今泉君子講師によるボウテン、テール練習でアトリエを使いゲーム形式でおこなった。

細かなルール、マナーを身につけてほしい事と、今日学ぶことを練習にも取り入れて技術の向上を目指してほしい。

1部と2部に分かれての講習会となり、一部は審判部が主体で、実技を交えてのルール解説を行った。指導員のメンバーがわざと違反行為をして、どうして違反になるのか、違反ではな



▲参加者の皆さんと記念撮影しました。

**Pick Up!**

# ペタンク探訪 No. 6



**秩父諏訪ペタンククラブ**

今回の訪問先は、秩父諏訪ペタンククラブさん。  
秩父では上町、大沼に続いての3回目となります。

もともとは町会内にて地区単位(全5地区)でのペタンクを楽しむという土壌があったなか2015年秋、太平洋セメント所有の土地に10面コートが作成されたことを契機にして、地区ごとの組織を発展・解消させ、2016年4月「諏訪ペタンククラブ」が創設されました。

多少の補足を加えると、市内大会参加の際には同じ「諏訪ペタンククラブ」ながら、チーム編成や普段の活動場所を別にする蓼沼西地区、また活動場所(諏訪町会テラン)は同じながらも、その活動時間帯やチーム編成は異なる別個のクラブ「イースト」も存在します。



新井国泰代表にクラブ創設の目的を伺ってみました。

**県主催の大会、秩父市ペタンク連盟の各種大会、さらに原谷地区限定開催の栗原杯及び諏訪町会内での大会に積極的に参加、健康促進と技術の向上に励む。**

指針としては、ペタンクを生涯スポーツとして楽しみつつ、健康で和やかな毎日を過ごせるように日々研鑽に努めるとし、「明るく、楽しく、元気よく」をモットーとし、91歳を筆頭に、平均年齢75歳の会員が笑顔で過ごすことが出来、2021年も健康で充実した生活が送れるように取り組む。



市内大会参加の際は、蓼沼西地区を別にしても、最大でトリプルス7組が出場することもある大所帯のクラブ、火・木・土各午前にある公式練習日では30分ほどの個人練習をしてから、その後3試合ほどの練習試合をしています。創設当時寄せオンリーといっていたいいくらいの状態でしたが、最近では男女問わずに普通の感覚でティールに挑戦できる選手も増えてきました。

県主催、市ペタンク連盟主催の各種大会等での成績の一部を県広報部ブログなどを参考に、以下のとおりまとめてみました。

市内開催大会での初入賞記録は、2016年5月の秩父オープン、第3位。

初優勝を飾ったのは、10月開催の、秩父市民大会。

市外大会での初優勝は、11月の江南オープン・踊る埴輪杯。最近では、県クラブナンバーワンを競う県連盟クラブ対抗戦では、2018年度～2019年度にかけて、2連覇達成。

2019年10月、第34回日本ペタンク選手権大会で、諏訪2名+大野原1名の原谷連合チームとして、男子の部・優勝を達成。11月、県代表チームとして、ねんりんピック和歌山大会にも出場できました。

先日、2020年12月23日には、秩父市久喜市長より新井代表へ団体体育功労賞(※加盟団体に所属する団体で、10年以上加盟団体の発展に特に功績のあった団体)が授与されました。

公式練習日以外でも日曜日を除く毎日午前中ならば、いつも練習をしているとのことですので、お気軽にお立ち寄りください。



取材 浅見広報部員